

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年12月25日～12月28日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
12月25日	使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)の状況確認	使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)	○使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)の現況を確認した。 エリア内は、使用済セシウム吸着塔がボックスカルバートに収納されたエリアとラックに収納されたエリアの2つに分かれていた。ボックスカルバートを目視で確認した範囲では、表面部分は風雨の影響により劣化が見られる箇所があるものの、ヒビや欠け等の損傷は確認されなかった。	12時07分現在
	移設された1,000tノッチタンクの状況確認	使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)北側	○使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)の北側に移設保管されている1,000tノッチタンクの現況を確認した。前回確認時よりも保管しているノッチタンクの数量が減少したが、東京電力担当者によると、H4北エリアで回収中の汚染土壌を収容する目的で使用し、ノッチタンクに収容後は、ガレキ一時保管エリアNに搬出しているとのことであった。	
12月26日	3号機原子炉建屋燃料取り出しカバーの設置状況の確認	3号機開閉所	○3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバーの設置状況を確認した。 確認時にカバーのつり上げ作業は行われていなかったが、前回確認時から新たにドーム屋根8ユニット目の南側部材と西側側面の設置が完了していた。 順調に設置工事が進められていることを確認した。	10時13分現在
	G6タンクエリアにおけるフランジタンク解体状況の確認	G6タンクエリア	○G6フランジタンクエリアのフランジタンク解体作業の進捗状況を確認した。 G6南エリアでは、最南端のフランジタンク1基が解体されており、堰内にはタンクの手すりのみが残っていた。 現場で目視した限り、問題点は見当たらなかった。	
12月27日	増設雑固体焼却設備建屋建設工事の進捗状況の確認	増設雑固体焼却設備建屋建設現場	○増設雑固体焼却設備建屋建設工事の進捗状況を確認した。 東京電力担当者によると、進捗率は全体の1割程度で、現在基礎工事中であり、2018年2月までに完了予定とのことであった。2018年3月からは焼却炉室の壁の立ち上げ工事を開始していくとのことであった。	11時27分現在
	G3北、G4北タンクエリア付近における移送ホースからの漏えい現場の状況確認	G3北タンクエリア G4北タンクエリア	○12月26日に発生した移送ホースからの漏えい現場の対応状況を確認した。 漏えい箇所は、G3北タンクエリアの北西側舗装道路上とG4北タンクエリアの北西側舗装道路上の2箇所であり、いずれも角材で区画され、シートと土のうで養生されていた。その後、養生シート等を撤去して塗膜剥離型除染材を塗布する除染作業が行われた。 現場の様子から、漏えいが拡大するおそれがないことを確認した。	
12月28日	使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第一～三施設)の状況確認	使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第一～三施設)	○使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第一～三施設)の現況を確認した。 第一施設にはボックスカルバートとラックが並んでおり、ラックの半分ほどを使用済セシウム吸着塔が占めていた。 第二施設には高性能容器(以下、「HIC」という。)対応型ボックスカルバートが並んでいた。確認時には、門型クレーンでHICをHIC対応型ボックスカルバートからトラック荷台のコンテナへ移し替える作業が行われていた。 第三施設にはボックスカルバートが並んでいた。第二施設と同様に確認時には門型クレーンでHICの移し替え作業が行われていた。 現場で目視した範囲では、いずれの施設もヒビや欠け等の損傷は確認されなかった。	10時14分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。